一般演題(口演)

2017年3月28日(火)

□ E会場 [第1講義室]

9:00~10:00 神経① 回路・機能(I)

座長:佐藤 真(大阪大学)

小野 勝彦 (京都府立医科大学)

演題番号 発表者名 演題名

10amE-1 相澤 秀紀 ゲノム編集技術を用いた成体脳におけるドーパミン受容体の機能解析

10amE-2 田中 庸介 キネシン分子モーター KIF1AはNGFレセプター TrkAを輸送し一次侵害受容ニューロ

ンの感受性と生存に重要な役割を果たす

10amE-3 Noriko Homma

The Loss of Postnatal KIF2A Leads to the Disruption of Hippocampal Wiring and

Causes Severe Epilepsy

10amE-4 石原 義久 ラット海馬台の内部構造に関する免疫組織化学的研究

1OamE-5 宮本 雄太 マウス線条体のストリオソーム/マトリックス区画における免疫組織化学的多様性と空

間的分布

10:00~11:00 神経① 回路・機能(Ⅱ)

座長:渡辺 雅彦(北海道大学)

竹林 浩秀 (新潟大学)

演題番号 発表者名 演題名

10amE-6 山崎美和子 マウス線条体シナプスのAMPA受容体密度は細胞種や出入力経路によらず一様である

1OamE-7 深澤 元晶 β2m欠損マウスの線条体におけるシナプスの量的異常に関する研究

10amE-8 今野幸太郎 分界条床核におけるGluD1/Cbln1複合体は結合腕傍核との非シナプス性接着構造の形

成と維持に必須である

1OamE-9 恒岡 洋右 性的二型核マーカー Moxd1の内側視索前野における発現

10amE-10 Eriko Kuramoto

Dorsal and ventral parts of the rat thalamic submedial nucleus provide two independent inputs to different areas of orbital cortex

15:00~16:00 組織細胞① 傷害・加齢

座長:千田 隆夫(岐阜大学)

相澤信(日本大学)

演題番号 発表者名 演題名

10pmE-11 清水 一彦 マウス舌及び皮膚創傷部位に出現するpodoplanin陽性細胞の役割

10pmE-12 Nami O. Yamada

Colorectal cancer-derived extracellular vesicles induce tumor immunotolerance

1OpmE-13 三宅 克也 Rab23およびRab34の骨格筋線維膜修復時の動態

1OpmE-14 金田 勇人 間葉系幹細胞由来因子Gdf6による老年性機能障害の回復

1OpmE-15 原田 智紀 LPS頻回投与における慢性炎症下の加齢様B細胞造血能低下について

16:00~17:00 組織細胞② がん・がん化

座長:前村憲太朗(大阪医科大学) 牛木 辰男(新潟大学)

演題番号 発表者名 演題名 VEGF-Cを捕捉する可溶性VEGFR-3のマウス乳癌に対する転移抑制効果 10pmE-16 柴田 雅朗 寺町 順平 骨髄腫腫瘍進展と骨破壊病変形成におけるTAK-1の枢軸的役割 10pmE-17 10pmE-18 三上 剛和 Secretory leukocyte protease inhibitorによる細胞移動能の制御機構に関する研究 井手佳菜子 多能性幹細胞の腫瘍化阻止のための新規レンチウイルスベクター技術の開発 10pmE-19 10pm E-20 三井 薫 独自開発の増殖制御型アデノウイルスベクターによる新たな多能性幹細胞の腫瘍化阻 止技術の開発

□ F会場 [第2講義室]

9:00~10:00 肉眼① 人類・その他

座長: 平田 和明(聖マリアンナ医科大学) 近藤信太郎(日本大学)

演題番号 発表者名 演題名 水嶋崇一郎 胎児期から青年期にわたる日本人の四肢プロポーションの変化様式 10amF-1 岡崎 健治 中国新石器時代の脊椎カリエスについて 10amF-2 10amF-3 近藤信太郎 類人猿にみられた下顎隆起 10amF-4 新見 隆彦 医学文献の解剖学解析によるAuthor意図と相補性の抽出 「おからだ手帳」:新しい献体の可能性 10amF-5 辰巳 治之

10:00~11:00 肉眼② 頭頚部

座長:阿部 伸一(東京歯科大学)

大島 勇人(新潟大学)

演題番号 発表者名 演題名 葛西 絵美 蝶篩骨縫合の形態変異 10amF-6 胎生期マウス外側翼突筋停止部における付着機序の解明 10amF-7 永倉遼太郎 10amF-8 坂本裕次郎 外舌筋の立体構造に関する肉眼解剖学的検討 10amF-9 奥田 逸子 CT画像を用いた眼輪筋の骨付着に関する加齢性変化の評価 前・中・後上歯槽神経・脈管は1本の上歯槽管へと収束する 10amF-10 大島 勇人

15:00~16:12 神経② 発生・分化

座長:勝山 裕(滋賀医科大学)

和中 明生 (奈良県立医科大学)

演題番号 演題名 発表者名 リーリンは発生期のニワトリ視蓋で多極性ニューロンの分化を調整する 渡邉 裕二 10pmF-11 リーリン受容体ApoER2による大脳皮質ニューロン移動と停止の制御機構 10pmF-12 廣田 ゆき 江角 重行 発生過程におけるGAD67陽性大脳皮質GABAニューロン前駆細胞の分裂と系譜 10pmF-13 10pmF-14 武井 陽介 Staufen-1がPurαを含むmRNA複合体の樹状突起内輸送とシナプス局在に与える影響 10pmF-15 香川 慶輝 細胞核内FABP7はcaveolin-1遺伝子発現をエピジェネティックに制御する 10pmF-16 重谷 安代 ポリプテルスの体躯側線感丘は発生を通じて表層に見られる

16:12~17:00 肉眼③ 教育

座長:佐藤 二美(東邦大学)

永島 雅文(埼玉医科大学)

演題番号 発表者名 演題名

10pmF-17 影山 幾男 解剖学実習を面白くする方法

10pmF-18 中島由加里 超音波診断装置を用いた三角筋部の安全な筋肉内注射部位の検討

10pmF-19 豊嶋(青山) 典世

救命救急手技の理解を助ける解剖体示説実習の展開とその工夫

10pmF-20 黒岩 美枝 横浜薬科大学におけるフィジカルアセスメント教育について

2017年3月29日(水)

□ B会場 [良順会館ボードインホール]

16:10~17:10 組織細胞⑤ 細胞(I)

座長:大槻 勝紀 (大阪医科大学)

栗原 秀剛 (順天堂大学)

演題番号 発表者名 演題名
2OpmB-1 平良芙蓉子 亜鉛欠乏ラットにおけるエブネル腺の変化
2OpmB-2 Nabil Eid Ethanol-induced hepatic mitophagy is associated with activation of PINK1-Parkin pathway
2OpmB-3 板東 良雄 抗MOG自己抗体がオリゴデンドロサイトに及ぼす影響の解析

2OpmB-4 小酒井 友 肥満細胞に発現するCRF2はストレス性機能性胃腸症の胃痛覚過敏に関与する

2OpmB-5 長瀬 美樹 培養腎糸球体ポドサイト細胞株のメカノ刺激に対する応答性ならびにメカノ関連分子

発現の比較解析

□ С会場 [良順会館専斎ホール]

| 16:10~17:10 | 組織細胞⑥ 消化器・内分泌

座長:屋代 隆(自治医科大学)

進 正志(崇城大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OpmC-1 Tetsuji Sato Elastic fiber system constructing the lamina propria of the digestive tract

2OpmC-2 Daisuke Kobayashi

Analysis of the medaka intestinal atresia mutant II

2OpmC-3上田 忠司初代培養心筋、肝細胞における終末糖化産物の影響2OpmC-4堀口幸太郎下垂体前葉内濾胞星状細胞が発現するCD抗原の探索

2OpmC-5 進 正志 抗リナグリプチン特異モノクローナル抗体の作製と免疫組織化学

□ D会場 [ポンペ会館]

16:10~16:58 神経④ 再生

座長:桐生寿美子(名古屋大学)

北田 容章 (東北大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OpmD-1 北田 容章 再生可能動物である両生類を用いた神経再生メカニズムの探索 2OpmD-2 若槻 華子 マウス腕神経叢移行術モデルを用いた末梢神経再生経路の解析

(DINE) による軸索再生効果

2OpmD-4 山本 朗仁 新規M2マクロファージ誘導因子による末梢神経再生

□ E会場 [第1講義室]

9:00~10:00 組織細胞③ 3Dイメージ

座長:海藤 俊行(鳥取大学)

甲賀 大輔 (旭川医科大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OamE-1 森山 陽介 連続スライスSEMによる組織化学を応用した細胞小器官の三次元超微構造観察

2OamE-2 甲賀 大輔 連続切片SEM法による内分泌細胞ゴルジ装置の3D構造解析

2OamE-3 稲賀すみれ FIB/SEMを用いたHeLa細胞内染色体のその場観察による三次元構造解析法

2OamE-4長谷部祐治Serial Block Face-SEM法によるマウス精細胞の三次元解析2OamE-5平嶋 伸悟力学的負荷に対する歯根膜組織変化のの3次元微細構造解析

10:00~11:00 組織細胞④ 幹細胞・移植

座長:出澤 真理(東北大学)

吉田 淑子(富山大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OamE-6 Mohamed Amin

Differentiation of Muse cells into Cardiomyocyte-like cells by Stepwise Cytokine

Induction

2OamE-7 串田 良祐 臍帯組織中に存在する非腫瘍性多能性幹細胞Muse細胞の機能解析

2OamE-8 岡部 素典 HD羊膜の再発翼状片への利用と羊膜バンクの設立

2OamE-9 吉田 淑子 羊膜間葉系幹細胞サブクラスの線維化抑制に対する効果

20amE-10 Li Xinghan Transplantation of cryopreserved mouse tooth germ

16:10~17:10 肉眼⑤ 血管・神経

座長:山木 宏一(久留米大学)

本間 智(金沢医科大学)

演題番号発表者名演題名2OpmE-11本間 智 外側仙骨動脈から分かれる中直腸動脈

2OpmE-12 松田 和郎 解剖実習脳における前大脳動脈の臨床解剖学的検討

2OpmE-13 大神 敬子 超音波ガイド下大腿神経ブロックに関連する大腿動脈外側枝の分枝様式とその性差

2OpmE-14 向井加奈恵 超音波診断装置を用いた肘窩の静脈穿刺を安全に実施するための基礎研究

- 駆血前後の血管径・深さ・神経及び動脈との位置関係の計測 - (62/65)

2OpmE-15 齋藤 敏之 胸神経・腰神経後枝の3次元構造

□ F会場「第2講義室]

9:00~10:12 神経③ モデルマウス

座長:武内 章英(京都大学)

城戸 瑞穂 (佐賀大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OamF-1 佐々木哲也 自閉症モデル霊長類の大脳皮質シナプス形成・再編成の異常

2OamF-2 江藤みちる 自閉症における音源定位の障害の可能性 - 自閉症モデルラットを用いた解析 -

2OamF-3 松田 修二 アルツハイマー病抵抗遺伝子BRI2に由来するペプチドの性状解析

2OamF-4 石井 宏史 くも膜下出血マウスモデルにおける早期脳損傷病態

2OamF-5 久保健一郎 超早産児脳障害のモデルマウス脳における組織構築の解析

2OamF-6 大河原 剛 妊娠中のウイルス感染は児の呼吸動態に影響を与える – ウイルス感染モデルラットを

用いた実験より

10:12~10:48 肉眼④ 消化器

座長:秋田 恵一(東京医科歯科大学)

松田 正司 (愛媛大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OamF-7 中村 達郎 Infracardiac bursaに関する臨床解剖および発生学的検証

2OamF-9 岡田 倫明 Soft Cadaverを用いた男性の肛門管前壁解剖の解明

16:10~16:58 肉眼⑥ 心臓

座長:吉永 一也(熊本大学)

中谷 壽男(金沢大学)

演題番号 発表者名 演題名

2OpmF-10 島田 達生 哺乳動物心臓刺激伝導系の細胞構築、とくに左脚と右脚

2OpmF-11 上村 竜也 鳥類キメラ、蛍光色素標識、EGFP-Tol2システム、器官培養を用いた冠状血管内皮細

胞の起源の検討

20pmF-12 千葉 政一 ヒト褐色脂肪組織型の単純CT撮影装置を用いた非侵襲的推定方法

2OpmF-13 董 暁敏 肥満糖尿病によるマウス心臓周囲褐色脂肪組織の変化

2017年3月30日(木)

□ **E**会場 [第1講義室]

9:00~10:00 組織細胞⑦ 生殖

座長:松崎 利行(群馬大学)

飯田 弘(九州大学)

演題番号 発表者名 演題名

3OamE-1 向後 寛 マウス精巣におけるアクアポリン11の局在と機能

3OamE-2 飯田 弘 牛精子頭部におけるTektin3の分布と超活性化による局在変化

3OamE-3 Xiaohui Song In situ hybridization analysis shows that long noncoding RNA 1700101022Rik is

expressed exclusively in mouse spermatids

3OamE-4 バニャー タン ナイン

In situ hybridizationにより明らかにされたマウス満期胎盤におけるmiR-675-3pの傍

分泌

3OamE-5 Chaw Kyi Tha Thu

Glucose transporter type 1 (Slc2a1) is expressed in uterine natural killer cells of the

mouse placenta

10:00~11:00 組織細胞⑧ 脈管・マクロファージ

座長: 人見 次郎 (岩手医科大学)

松野健二郎(獨協医科大学)

演題番号 発表者名 演題名

3OamE-6 木村 英二 眼を支配する初期血管系の形成:魚類と哺乳類の相違

 3OamE-8
 浅野 義哉
 三次元人工ヒトリンパ管網組織の移植と脈管リモデリング

 3OamE-9
 小川 和重
 EphA, ephrin-Aと赤脾髄マクロファージの組織定着機構

 3OamE-10
 上田 祐司
 ラット急性膵炎モデルにおける炎症性遊走単球の組織特異的分化

14:10~15:10 組織細胞⑩ 細胞(II)

座長:瀬藤 光利(浜松医科大学) 中村桂一郎(久留米大学)

演題番号 発表者名 演題名 30pmE-11 林 徹 胎仔マウス器官の組織間におけるマイクロRNA輸送 30pmE-12二木 杉子 トランスジェニックマウスを用いたin vivo基底膜イメージングモデルの評価 30pmE-13 池上 浩司 一次繊毛の切断および繊毛断片の放出 30pmE-14 力丸由起子 ラットを用いたヒト移植脂肪組織の経時的変化に関する組織学的研究 30pmE-15 小林 純子 ロタウイルスの細胞内複製過程における脂肪滴の役割

15:10~15:58 組織細胞① 観察法

座長:溝口 明(三重大学)

臼倉 治郎 (名古屋大学)

演題番号 発表者名 演題名 生体組織病変のリアルタイム光バイオプシを可能とする、次世代レーザ内視鏡を用いた 30pmE-16 溝口 迅速画像診断・治療技術の開発 30pmE-17 杉山 紀之 急性腎障害早期診断における超音波検査による腎輝度の有用性 30pmE-18 臼倉 治郎 凍結切片AFMによる組織細胞内超微構造解析と免疫細胞化学 30pmE-19 中田 浩貴 コンデンシン-IIノックダウン染色体の超微構造解析

□ F会場 [第2講義室]

9:00~10:12 組織細胞⑨ 硬組織(発生・修復)

座長:久木田敏夫(九州大学)

天野 修(明海大学)

演題番号 発表者名 演題名 3OamF-1 上原 範久 ラミニン-332の骨芽細胞での発現と破骨細胞分化制御 3OamF-2 岡村 裕彦 ヒストン脱メチル化酵素Jmjd3はBcl-2およびPKD1の発現を介して骨芽細胞のアポ トーシスを制御する 3OamF-3 坂東 康彦 マウス骨端板におけるseptoclastの発生と由来 3OamF-4 藤川 芳織 マウス下顎頭軟骨および下顎骨発生過程におけるSyndecan familyの遺伝子発現に関 する研究 30amF-5 久本 芽璃 抜歯後の骨代謝制御機構を解明するための顎堤過吸収モデルの構築 30amF-6 井上 知 骨幹端における骨損傷の修復過程は骨幹部と異なる

10:12~11:00 肉眼⑦ 運動器

座長:東華岳(産業医科大学)

中野 隆(愛知医科大学)

演題番号 発表者名 演題名 抗重力動作に対する大殿筋の関与 30amF-7 滝澤 恵美 -スクワットにおける大殿筋の推定筋張力と筋活動の特徴から-30amF-8 西 啓太 仙腸関節の形態と変性変化の関係について -腸骨耳状面に対する三次元形態解析-3OamF-9 那須 久代 膝関節外側を構成する線維性の関節包の層序に関する形態学的研究 モモンガ族 (Pteromyni) 手根部の滑空性適応変化に関する比較解剖学的検討 30amF-10 川島 友和

14:10~15:34 神経⑤ 末梢神経系

座長:船越 健悟(横浜市立大学) 尾崎 紀之(金沢大学)

		作则 礼之 (並八八-
演題番号	発表者名	演題名
3OpmF-11	安井正佐也	複合的持続ストレスモデルラットにおける脊髄ミクログリア活性化機序の解析
30pmF-12	大道 裕介	ラット後肢不動によって生じた酸化ストレスに起因する広範囲機械痛覚増強
30pmF-13	Aye Aye Mon	Role of MCP-1/CCR2 signaling in Diabetes-induced Gastric Hyperalgesia
30pmF-14	城戸 瑞穂	喘息モデルマウスにおける機械痛覚過敏
30pmF-15	佐藤 文彦	咬筋筋紡錘からの感覚の視床投射
30pmF-16	Jean-Pierre Bellier	
		The peripheral type of choline acetyltransferase, a marker for peripheral
		cholinergic neurons in invertebrate and vertebrate
30pmF-17	Hasan MD M	ahmudul
		Localization of neuropeptide, manserin, in gastrointestinal tract of rats.